

## 地域密着型金融の取組みについて

### はじめに

当金庫は、「豊かで快適な地域社会の基盤づくりへの貢献」、「高品位で安心できる総合金融サービスの提供」を経営理念の柱に掲げ、地域に密着した経営を業務運営の基本とし、「地域密着型金融推進計画」を策定し実践しております。

2024年度の主な取組み内容と、2025年度の推進計画は次のとおりであります。

### 2024年度の取組み状況について 〈中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み状況〉

2024年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たすため、次のことを重点施策として中小企業の経営支援、地域経済活性化への貢献に積極的に取組みました。

#### 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。また、企業の経営課題に応じて支援に取組み、地域経済の活性化のための資金供給や情報提供・経営相談・改善支援などを行いました。貸出条件の変更等にも真摯に対応し、資金繰りの円滑化を図りました。

- ① お取引先との信頼関係を深化させ、財務・定性情報に基づいた実態把握と経営課題の把握・共有に努めました。  
事業の持続可能性を見極め、最適なソリューションの提案に努めました。
  - 経営支援先として30先を選定、うち新規改善支援取組み 11先、改善計画策定 5先
- ② 外部機関と連携し、専門的な支援を行いました。
  - 外部機関・専門家と連携した経営改善・本業支援等 195件  
(兵庫県信用保証協会、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点など)
- ③ 企業の経営課題に応じて、各種の中小企業支援施策を活用した支援を行いました。
  - 創業・新規事業開拓の支援

- 事業の成長可能性を評価し、地域の活性化に向けた支援を行いました。〈創業・新事業融資 72件753百万円〉
- 日本政策金融公庫と連携した開業支援を行いました。〈創業関連 12件258百万円〉
- 成長段階における支援
  - 融資審査能力・目利き力の向上等の人材開発に努め、事業性評価に基づいた融資に努めました。  
〈設備投資など「成長・育成」につながる新規融資 271件8,586百万円〉
  - 新たな販路の獲得に向けた支援を行いました。  
「川上・川下ビジネスネットワーク事業」 新たに4社の企業調査の他、27件のビジネスマッチングを実施しました。
  - 日本政策金融公庫と連携した支援を行いました。〈成長関連 4件145百万円〉
  - 各種補助金の活用の支援や資金調達のアドバイスを行いました。  
〈協調した融資 10件103百万円〉
  - 事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めました。
- 経営改善・事業再生、条件変更等の支援
  - 改善計画の策定や条件変更等においても、お取引先の実態と申込み内容の妥当性と実現可能性を検証し、資金繰りの円滑化支援を行いました。また、必要に応じて他の金融機関等と緊密な連携を図りました。
  - 貸付の条件変更先からの新規融資の申込みに対しても、改善計画の内容や債務償還能力を検証し適切に対応しました。  
〈円滑化関連 39件808百万円〉
  - 中小企業者の債務者区分ランクアップ実績48先（うち、集中的に支援を行っている経営支援先 3先）
  - 事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建や当該企業の取引先への影響を踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行いました。

## 経営支援等の取組み実績(2024年4月～2025年3月)

		(単位:先数)					(単位:%)		
		期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み先 数	$\alpha$ のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	$\alpha$ のうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	$\alpha$ のうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率
		A	$\alpha$	$\beta$	$\gamma$	$\delta$	$\alpha/A$	$\beta/\alpha$	$\delta/\alpha$
正常先	①	3,221	1	/	1	0	0.03	/	0.0
要 注 意 先	うちその他要注意先	587	24	3	16	17	4.1	12.5	70.8
	うち要管理先	27	0	0	0	0	0.0	—	—
破綻懸念先	④	145	5	0	5	3	3.4	0.0	60.0
実質破綻先	⑤	86	0	0	0	0	0.0	—	—
破綻先	⑥	15	0	0	0	0	0.0	—	—
小計(②～⑥の計)		860	29	3	21	20	3.4	10.3	69.0
合計		4,081	30	3	22	20	0.7	10.0	66.7

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。

※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

- 事業承継への支援
  - 兵庫県事業承継ネットワークに参加し、事業承継診断等を実施しました。

## 2. 地域の面的再生への積極的な参画

地方創生に向けた金融機関の役割を踏まえ、地域の各種団体等との連携を深めた地域活性化への貢献に取り組みました。

- 地域の各種団体等との連携
  - 地元の地公体や商工会等と連携した会議等に参加しました。

## 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

お取引先の利便性の向上に向け、積極的な情報発信を行いました。

- NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、レポート配信、情報冊子の配付など経営情報の提供を行いました。経営セミナーを9月6日に渋澤健氏を招き「渋澤栄一の論語と算盤で未来を拓く」と題し開催しました。
- 地元産品販売支援事業（近畿地区の全29信用金庫の役職員及び関係者が、地元産品の販売支援〈購入〉を行う事業）に参加し、当金庫が301個の発注をし、逆に地元10業者に対し24信金から248個の注文を受けることが出来ました。
- なかしん年金友の会「わくわく倶楽部」、職域先「ウキウキ倶楽部」の優待サービスを充実させ、地元観光業者の広告と販促に貢献しました。
- 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。
- CS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。〈CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500先、うち回答数610先〉

## 2025年度推進計画

国内景気については、実質賃金の改善が進めば、個人消費の回復も見込め、米国の景気に引きずられてではあるものの、国内の事業意欲も堅調に推移すると予想され、景気は緩やかに回復すると思われます。しかし、地方経済を支える中小企業にとってその恩恵は限定的で、引き続き物価高に対する価格転嫁の可否や人手不足、賃金上昇圧力への対応、後継者・事業承継問題など収益改善や成長拡大への道は険しく、課題は山積しています。依然として厳しい経営環境が続くと思われますが、引き続き地域やお客様の課題解決を通じて持続可能性の向上に貢献するため、次のことを重点施策として取組んでまいります。

### 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先との対話を通じて信頼関係を深化させ、事業性評価による実態把握を一層進めることにより経営課題を明確にし、コンサルティング機能の発揮に努め、お取引先の必要に応じた適切な支援を行います。また、関係する他の金融機関、外部専門機関等（政府系金融機関・信用保証協会等及び中小企業活性化協議会を含む）との連携や各種の中小企業支援施策を有効に活用して支援を行います。

- 創業・新規事業開拓の支援
  - 事業の成長可能性を評価し、資金の供給等の支援を行います。
  - 日本政策金融公庫等の公的機関とも連携した開業支援を行います。
- 成長段階における支援
  - 事業価値を見極めることにより、担保・保証に過度に依存しない融資審査を行い、事業の発展・持続可能性を評価して資金需要に対応します。
  - ビジネスマッチング等により、新たな販路の獲得等を支援します。
  - 日本政策金融公庫等と連携した支援を行います。
  - 各種補助金等の公的支援施策を活用した支援を行います。

- 事業性評価のため融資審査能力・目利き力の向上に向けた職員の人材開発に努めます。
- 経営改善・事業再生・条件変更等の支援
  - 経営改善が必要なお取引先に対して、外部専門機関も活用した実効性のある計画策定等の支援を行います。
  - 貸付の条件変更先から新規融資の申込みがあった場合でも、改善計画の実現可能性があり債務償還能力の向上に資すると判断される場合には、資金繰りの円滑化に向け適切な支援を行うように努めます。
  - 事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建などを踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行います。
- 事業承継への支援
  - 後継者の有無や事業承継に関する経営者の意向を踏まえつつ、相談機能の強化に努めます。また、外部関係機関との連携強化により専門的なアドバイスを行います。

## 2. 地域の面的再生への積極的な参画

地域経済団体等との連携やビジネスマッチングの展開など地域活性化への貢献に取り組めます。

- 地域経済団体等との連携
  - 地域経済の活性化に向け、地元の地公体や商工会等と連携した活動を行います。
  - 当金庫の営業力を活かした情報収集を行い、地域資源や優れた商品・サービス・技術等を掘り起こし、地域企業を応援して行きます。
- お取引先の特徴を活かしたビジネスマッチングの展開
  - 信用金庫業界のネットワークや外部機関を活用した情報提供を行います。
  - 販路拡大のための「商談会」や、製造業のマッチング支援の「川上・川下ビジネスネットワーク事業」等を積極的に活用し、売上拡大支援を行います。

## 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

お取引先企業や地域の利用者に対し積極的な情報発信を行います。

- お取引先企業への情報提供
  - NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、経営情報のWeb配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行うとともに、会員相互間の交流によりビジネスチャンスを創造する場の提供に努めます。
  - Web面談方式による個別商談会の開催により、ビジネスマッチングの情報を提供します。
- 地域情報の収集及び情報発信
  - 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元します。
  - 前年度に引き続きCS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めます。
  - 地域に貢献され活躍されている企業・個人を顕彰し、その功績に対し敬意を表し、あわせて今後の活躍を期待して『なかしんふるさと賞』（商工業・伝統工芸文化・スポーツ・ボランティア部門）として表彰します。

## 数値目標

「地域密着型金融推進計画」の取組みのなかで以下のことについて数値目標を設定し、積極的に推進します。

- ① 経営改善支援への取組み
  - 経営改善支援取組み先数 26 先
    - うち今年度新規支援取組み先数 10 先
  - 今年度経営改善計画策定先数 10 先
  - ランクアップ目標 10 先
- ② 「成長・育成」につながる新規融資の取組み
  - 取組み件数 280 件
- ③ 利用者ニーズを把握するための取組み
  - CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500 先

以上